



富山市立速星小学校

学校だより

令和7年6月13日発行

E-mail hayahoshisho@city.toyama.lg.jp

輝く毎日をつくる子供たち

生徒指導主事 嶋津 弘文

本校では、子供たちが自ら目標を立て、その実現に向けて主体的に活動する姿が日々見られます。毎週木曜日の「フレンドリータイム」では、学級ごとに遊んだり話し合ったりして、仲を深める活動を行っています。ある学級では、係の子供たちが「友達を楽しませたい」と考え、クイズ大会やドッジボール等のイベントを企画しました。子供たち自身が進行役を務めるなど、工夫が光る時間となっています。

児童会活動も活発です。例えば、図書委員会では、より読書に親しんでもらおうと「くじ引きイベント」を企画しました。借りた本に応じて小さな景品がもらえる仕組みを考え、多くの子供たちが図書室に足を運んでいました。どの委員会の活動にも、子供たちの思いや工夫が表れていて、頼もしさを感じます。

今年度の児童会目標は、子供たちが意見を出し合って、「チャレンジ 思いやり 一人一人が輝き放つ 速星流星群」と決めました。それぞれが主体的に挑戦し、他者を思いやる中で、子供たちは自分らしい光を放ちはじめています。一人一人が流星のように輝きながら、互いを照らし合う、そんな学校を目指し、私たち教職員も子供たちと共に取り組んでいきます。

学年紹介コーナー このコーナーでは、各学年の子供たちの様子をお知らせします。今月は2年生です。

力を合わせて野菜づくりにチャレンジ！（2年生）

2学年主任 真岩 竜郎

2学年の生活科では、「わたしたちの野さいばたけ」の学習を行っています。5月中旬、子供たちが選んで買ってきた野菜の苗は、子供たちの愛情をたっぷり受けて、鉢の中で元気に育っています。学年の畑は、自治振興会会长の原さんに土おこしと畝づくりをしていただき、長寿会の皆さんに優しく丁寧に教えてもらいながら苗を植えました。トウモロコシやキュウリ、ゴーヤやスイカ等の野菜が、背の高さを競っているかのようにぐんぐんと生長しています。畑は、子供たちの大好きな場所となりました。毎朝のお世話の後は、「先生、背がのびてきたよ。」「初めて花が咲いたよ。」など、野菜の生長を喜ぶ声が学年棟に響き渡っています。

しかし、喜びの声だけではありません。野菜が倒れたり、虫や風の影響を受けたりして、思うように育たず、悩んでしまうこともあります。そんなときは、「野さいおなやみそだんしつ」で、同じ教室の仲間たちに相談します。長寿会の方々に質問して教えてもらったことや、本で調べたこと、家族に聞いたこと、自分が実際に体験したことなどを基に話し合い、自分たちなりの対策を講じています。自分の野菜でなくても、野菜の種類は違っていても、みんなで力を合わせて育てていこうという思いが子供たちの主体的に関わり合う姿から見られます。近頃、実ができると喜んでいる子供もいました。「わたしたちの野さいばたけ」がこれからどうなっていくのか楽しみです。



安全で楽しい水泳学習に向けて

5月23日(金)に、教職員とPTA健康安全部等の方々が参加して、救命救急講習会を実施しました。日本赤十字社富山県支部より、2名の救急法指導員を招いて緊急時の的確かつ早急な対応について、実技を交えながら指導いただきました。事故のない安全で楽しい水泳学習にしていくための心構えや対応の仕方について、共通理解をしました。

6月6日(金)には、上学年が分担してプールの周囲、更衣室やトイレ、プール内の清掃を行いました。また、

12日(木)には全校でプール開き式を行い、目当てや安全に水泳学習を行うための注意事項を確認しました。子供たちにとって楽しい水泳学習になるよう、安全面に十分配慮し、指導に当たって参ります。



メディアコントロール週間について

速星中学校区では、子供たちが放課後の時間もより充実して過ごす事ができるように、「メディアコントロール週間」を行っています。本校では、今学期は6月18日(水)～24日(火)の期間に実施します。放課後の過ごし方を自分で考え、自ら働きかけるこの機会を大切にして、一人一人の学びに向かう姿勢が向上するよう願っています。ご家庭でもお子さんに励ましの言葉をかけていただけたらと思います。

今後の主な行事予定